

平成 20 年 3 月期

## 第3四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上場会社名 株式会社ヤマダ電機  
 コード番号 9831  
 代表者 役職名 代表取締役社長 山田 昇  
 問合せ先責任者 役職名 取締役専務執行役員 岡本 潤  
 配当支払開始予定日 平成一年一月一日

上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.yamada-denki.jp/>

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 20 年 3 月期第3四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
20年3月期第3四半期	百万円 % 1,305,714 (20.6)	百万円 % 47,493 (30.4)	百万円 % 58,280 (22.3)	百万円 % 35,493 (24.4)
19年3月期第3四半期	1,082,997 (13.8)	36,432 (11.9)	47,638 (13.1)	28,542 (17.4)
(参考) 19年3月期	1,443,661	55,551	71,747	43,420

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
20年3月期第3四半期	円 錢 368 79	円 錢 367 28
19年3月期第3四半期	302 15	295 35
(参考) 19年3月期	458 78	449 29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
20年3月期第3四半期	百万円 788,563	百万円 336,554	% 42.3	円 錢 3,492 38
19年3月期第3四半期	615,369	281,370	45.2	2,939 82
(参考) 19年3月期	550,439	299,536	53.8	3,103 86

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
20年3月期第3四半期	百万円 46,117	百万円 △107,267	百万円 79,011	百万円 58,889
19年3月期第3四半期	51,793	△30,703	21,091	73,023
(参考) 19年3月期	48,358	△52,325	13,827	41,029

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第3四半期末
	円 錢
20年3月期第3四半期	— —
19年3月期第3四半期	— —

## 3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） (%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 % 1,778,000 23.2	百万円 % 75,080 35.2	百万円 % 90,100 25.6	百万円 % 53,050 22.2	円 錢 550 49

平成19年11月6日に発表しました平成20年3月期中間決算発表時の予想を変更しておりません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 4社 除外 0社

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無：有

※詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月1日から平成19年12月31日）におけるわが国経済は、企業業績は回復傾向を見せ、雇用環境も改善しましたが、原油価格の高騰、原材料高に伴う食料品・日用品等の値上げ、米国サブプライムローン問題による株式市場への影響など、消費マインドへ与える影響は大きく、景気は横ばいで推移しました。

当家電販売業界では、主力商品である大型薄型テレビ（液晶・PDP）は引き続き好調に推移しました。また、パソコン関連商品も、Windows Vista 発売以降、堅調に推移、デジタルカメラについても、一眼レフタイプの構成比増加及び高画質でコンパクトタイプのデジカメ等の買い替えなどから好調に推移しました。白物家電は、堅調に推移しました。ゲーム関連商品も引き続き好調に推移しました。

一方、季節品に関しては、原油高の影響から石油暖房が苦戦しましたが、省エネ機能が進んでいるエアコンや石油を使用しない電気暖房が好調に推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、当期の経営スローガン「販売目標（連結）2兆円以上ステージへ基盤、構築スタートの年」—経常利益額（連結）1,000億円企業で社会貢献—を掲げ、都市型大型店舗 LABI の出店（7月：池袋、11月：品川大井町、12月：新橋デジタル館・秋葉原パソコン館）、グループとしてのトータルサービスソリューション実現を図るため、平成19年6月29日に地域密着型家電専門店として店舗展開する株式会社ぶれっそホールディングスを、平成19年9月26日に東京駅前展開する株式会社キムラヤセレクトを子会社化しました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は 1兆3,057億14百万円、営業利益 474億93百万円、経常利益 582億80百万円、四半期純利益 354億93百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

第3四半期の総資産につきましては、前年同期に比べ、1,731億94百万円増加し、7,885億63百万円となりました。

また、純資産につきましては、前年同期に比べ、551億84百万円増加し、3,365億54百万円となりました。

第3四半期における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ141億33百万円減少し、588億89百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得、差入保証金の差入に伴い投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスになり、それに伴う借入金の増加により財務活動によるキャッシュ・フローがプラスになったことによるものです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、461億17百万円の収入となりました。

これは主に、年末年始販売用商材及び売上増加に伴う棚卸資産及び売上債権がそれぞれ 724億83百万円、285億13百万円増加し、それに伴う仕入債務が 1,127億96百万円増加したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,072億67百万円の支出となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が 759億79百万円となったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、790億11百万円の収入となりました。

これは主に、借入金の増減に伴う資金の増加が 817億78百万円となったことによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点においては、平成19年11月6日発表の平成20年3月期中間決算発表時の予想を変更しておりません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規4社 平成19年6月29日に株式会社ぶれっそホールディングスと、その子会社である株式会社マツヤデンキ、株式会社星電社、サトームセン株式会社を連結子会社としました。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、簡便法によっております。

第3四半期におきましては、実地棚卸は行わざ帳簿棚卸残高によっております。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更

## (有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号））に伴い、当連結会計年度より平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

また、当連結会計年度より、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額まで償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

なお、この変更により損益に与える影響は軽微であります。

## 5. (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	期 別	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金額	金額	金額	増減率	金額	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	
(資産の部)						
I 流動資産	( 347,697)	( 397,755)	( 50,057)	( 14.4)	( 262,775)	
現金及び預金	73,136	60,044	△13,091	△17.9	41,152	
受取手形及び売掛金	44,612	50,994	6,381	14.3	23,637	
たな卸資産	200,898	238,314	37,416	18.6	158,211	
繰延税金資産	7,355	7,041	△313	△4.3	7,020	
その他	21,789	41,950	20,160	92.5	32,821	
貸倒引当金	△95	△591	△495	518.9	△67	
II 固定資産	( 267,672)	( 390,808)	( 123,136)	( 46.0)	( 287,663)	
有形固定資産	( 172,735)	( 250,723)	( 77,988)	( 45.2)	( 179,783)	
建物及び構築物	107,814	127,363	19,548	18.1	111,663	
土地	56,617	97,707	41,090	72.6	56,582	
その他	8,303	25,652	17,348	208.9	11,538	
無形固定資産	( 2,737)	( 3,849)	( 1,111)	( 40.6)	( 2,722)	
投資その他の資産	( 92,198)	( 136,236)	( 44,037)	( 47.8)	( 105,157)	
投資有価証券	3,426	21,661	18,235	532.2	4,541	
差入保証金	77,160	100,912	23,752	30.8	87,628	
繰延税金資産	2,924	3,440	515	17.6	4,042	
その他	8,694	10,229	1,535	17.7	8,951	
貸倒引当金	△6	△7	△1	19.7	△6	
資産合計	615,369	788,563	173,194	28.1	550,439	
(負債の部)						
I 流動負債	( 259,439)	( 371,333)	( 111,894)	( 43.1)	( 165,075)	
支払手形及び買掛金	176,060	200,429	24,369	13.8	85,299	
未払法人税等	5,299	8,691	3,391	64.0	15,983	
賞与引当金	1,405	1,666	260	18.5	1,914	
ポイント引当金	14,934	7,449	△7,484	△50.1	12,619	
その他	61,739	153,096	91,357	148.0	49,259	
II 固定負債	( 74,560)	( 80,675)	( 6,115)	( 8.2)	( 85,827)	
社債	3,486	975	△2,511	△72.0	3,343	
長期借入金	54,716	55,452	735	1.3	65,803	
退職給付引当金	4,018	5,537	1,519	37.8	4,222	
役員退職慰労引当金	2,321	2,430	109	4.7	2,364	
商品保証引当金	2,824	4,575	1,750	62.0	3,225	
その他	7,193	11,705	4,512	62.7	6,868	
負債合計	333,999	452,008	118,009	35.3	250,902	

科 目	期 別 前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)		増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
		金額	金額	金額	増減率	
(純資産の部)						
I 株主資本	( 277,891)	( 332,146)	54,255	19.5	( 296,140)	
1 資本金	67,243	70,574	3,331	5.0	68,930	
2 資本剰余金	67,164	70,492	3,328	5.0	68,849	
3 利益剰余金	143,581	191,184	47,602	33.2	158,459	
4 自己株式	△97	△104	△7	7.5	△98	
II 評価・換算差額等	( 203)	( 1,068)	865	426.0	( 191)	
1 その他有価証券評価差額金	203	1,068	865	426.0	191	
III 少数株主持分	( 3,275)	( 3,339)	63	1.9	( 3,203)	
純資産合計	281,370	336,554	55,184	19.6	299,536	
負債、純資産合計	615,369	788,563	173,194	28.1	550,439	

## 6. (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	期 別	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
		金額	金額	金額	増減率	金額
		百万円	百万円	百万円	%	百万円
I 売上高		1,082,997	1,305,714	222,717	20.6	1,443,661
II 売上原価		842,573	1,025,982	183,408	21.8	1,110,329
売上総利益		240,423	279,732	39,309	16.4	333,332
III 販売費及び一般管理費		203,991	232,238	28,247	13.9	277,781
営業利益		36,432	47,493	11,061	30.4	55,551
IV 営業外収益		12,125	12,202	76	0.6	17,526
受取利息		502	695	193	38.5	694
仕入割引		9,082	8,843	△239	△2.6	13,158
その他		2,540	2,663	123	4.9	3,673
V 営業外費用		919	1,415	495	54.0	1,330
支払利息		824	1,314	489	59.3	1,121
その他		94	100	6	7.0	209
経常利益		47,638	58,280	10,642	22.3	71,747
VI 特別利益		42	155	113	269.1	674
貸倒引当金戻入益		32	—	△32	△100.0	10
固定資産売却益		—	0	0	—	654
その他		9	155	146	1545.2	9
VII 特別損失		1,246	495	△750	△60.2	1,821
固定資産処分損		329	104	△225	△68.3	534
差入保証金解約損		25	19	△5	△21.5	25
減損損失		524	84	△440	△83.9	731
棚卸資産評価・廃棄損		—	3	3	—	267
投資有価証券評価損		223	—	△223	△100.0	—
その他		143	283	140	97.4	262
税金等調整前四半期(当期)純利益		46,434	57,940	11,506	24.8	70,600
法人税、住民税及び事業税		17,346	22,309	4,962	28.6	27,544
法人税等調整額		—	—	—	—	△836
少数株主損失又は少数株主利益(△)		△544	△138	406	74.7	△472
四半期(当期)純利益		28,542	35,493	6,950	24.4	43,420

## 7. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	(参考) 平成 19 年 3 月期
		(平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	(平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	
		百万円	百万円	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期 (当期) 純利益		46,434	57,940	70,600
2. 減価償却費		7,681	9,580	10,710
3. のれん償却額		37	△282	50
4. 退職給付引当金の増減額		637	679	841
5. 役員退職慰労引当金の増減額		495	66	537
6. 賞与引当金の増減額		△386	△383	122
7. ポイント引当金の増減額		977	△5,345	△1,338
8. 売上債権の増減額		△28,675	△28,513	△7,700
9. たな卸資産の増減額		△52,839	△72,483	△10,419
10. 仕入債務の増減額		113,615	112,796	14,704
11. その他		△6,255	2,236	△254
小計		81,721	76,292	77,853
12. 法人税等の支払額		△29,139	△28,904	△28,567
13. その他		△788	△1,270	△928
営業活動によるキャッシュ・フロー		51,793	46,117	48,358
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 抵当証券の取得による支出		△4,000	—	△25,495
2. 抵当証券の売却による収入		3,700	500	25,195
3. 関係会社株式の取得による支出		△53	△5,715	△103
4. 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入		—	5,912	—
5. 有形固定資産の取得による支出		△21,287	△75,979	△30,876
6. 差入保証金の差入による支出		△10,429	△13,191	△23,000
7. その他		1,366	△18,794	1,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		△30,703	△107,267	△52,325
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入による収入		342,376	749,493	443,020
2. 短期借入金の返済による支出		△320,863	△667,421	△443,128
3. 長期借入による収入		10,300	7,650	27,000
4. 長期借入金の返済による支出		△8,364	△7,936	△10,705
5. その他		△2,356	△2,773	△2,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		21,091	79,011	13,827
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		530	—	858
V 現金及び現金同等物の増減額		42,712	17,860	10,718
VI 現金及び現金同等物の期首残高		29,844	41,029	29,844
VII 新規連結による現金及び現金同等物増加額		466	—	466
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		73,023	58,889	41,029